



約1万本の手持ち花火を楽しむ家族ら。29日夜、たつの市御津町黒崎(葉師山写真館・上吉川祐一さん撮影)

龍野青年会議所など3団体

## コロナ収束願い 夜空に光の大輪

4カ所でシークレット花火大会

**たつの** 新型コロナウイルスの収束を願い、たつの市内で29日夜、シークレット花火大会があった。1市3町による合併から15年の節目も記念し、旧市町ごとの4カ所に分散して事前告知せず開催。内陸の3カ所では打ち上げ花火が上がり、海岸では地元住民のみを招待して手持ち花火を楽しんだ。

龍野青年会議所、市商工会青年部、龍野川西商店会の3団体が共催。揖保川町を担当した青年会議所は、花火の筒を覆う紙に「コロナ退散」「医療従事者の方 頑張ってください」などとメッセージを書き込み、願いを込めて50発を打ち上げた。

新宮町では、旧町の中心部に近い新田山から75発を打ち上げ。ライトアップ中の揖保川のつり橋を花火がさらに照らした。龍野町では75発が城下町の夜空を焦がした。

海沿いの御津町では、地元の小学生らを新舞子海岸に招待した。約1万本の手持ち花火を配り、生演奏のライブも用意。波打ち際で光と音の競演を演出した。

龍野青年会議所の西田快人理事長(40)は「団体の垣根を越えて準備してきた。多くのイベントが中止になる中で、少しでも笑顔になってもらえればうれしい」と話した。(直江 純)

8月31日 神戸新聞分

心の中で参加者は大きな花火を打ち上げたこと  
でしょう。

困難な時期だからこそ、ささやかな幸せを大切に  
したいものです。